

【大学だより 198 号に掲載していない記事】

京都の大学・『学び』フォーラム／多数の高校生が模擬講義に参加

「京都の大学『学び』フォーラム」が6月の滋賀(会場:立命館大学)に引き続き、10月15日(土)に京都市内の大谷大学で、本学の江本豊教授による『超音波装置を用いて身体の中をのぞいてみよう』の演題で模擬講義が行われ、併せて、肝臓、胆嚢、腎臓、膵臓、血管などを診る検査実験が行なわれました。多くの参加者を得て活況を呈しました。

♡♡♡「AED、心肺蘇生法」講習会 ♡♡♡

3年生73名が4班にわかれて、11月4日、8日、22日、25日の4日にわたり、園部消防署の講師から診療画像技術学実験Ⅱの一環となる「応急手当でのAED-心肺蘇生法について」の講義、実技を受講しました。救急救命師等の医療従事者のみに認められていたAED(除細動装置)の使用が一般人にも認可され(H16年7月)7年が経過しました。講義では「救命の連鎖」の中でのAED使用法、心配蘇生法の位置づけの説明、実技ではそれらの実習が行われました。尚、応急手当の手順にも一部変更が出てきており、来春には本テキストが改訂されるとのことです。実習では受講学生に、さまざまな患者の状況を課題として与えられ、AED-心肺蘇生法の対応能力の習得が図られました。学生は、生存率50%の心停止5分以内の応急処置を意識しながら、AEDから流れる操作手順、人工呼吸-心臓マッサージの習得を目指して真剣に受講していました。

山東省医学高等科専門学校において河村教授が講義

平成11年以降、中国山東省の山東医学高等専科学校での『山東島津放射線技術教育講座』において本学教員による講座が開講され、現在も交流が続いております。平成20年4月には、山東医学高等専科学校・山東医学高等専科学校附属病院・山東医学影像学研究所の方々が来校され、また、昨年には9月～12月にかけて、黄世廷氏が「診療・研究・教育のための医用画像データベースの構築」というテーマで来日され、本学の江本豊教授の指導の許で研修を受けられました。引き続き、本年度は河村正教授が同講座の第8回目として「放射線治療学」の講義を行うために平成23年5月28日～6月5日の間、現地へ出張されました。

京都医療技術短期大学の閉校について

平成元年の開校以来、多くの卒業生を輩出してきました「京都医療技術短期大学」が、本年の10月をもって閉校いたしました。皆様からの数多のご厚情を頂戴いたしましたことに深く感謝申し上げますとともに、後を引き継いでいます「京都医療科学大学」には引き続きご高配とご支援をいただきたくよろしくお願い申し上げます。